

国籍の
人種の
宗教の
全部の
全部を
ぶち壊せ！

壁



日本の僧侶が発案した世界平和イベント、40日間の感動ドキュメンタリー。

Share the Earth, Happiness and Freedom

BE FREE!

原爆の残り火を、パレスチナへ

アースキャラバン2015



H30.1.28(日) 13:30開場 14:00開演 ~ 参加費 1000円

(上映後、監督とのお話会あり!)

【場所】名取駅1階西口プラザホール 名取市手倉田字八幡287-15

【申込・問合せ】BE FREE!名取上映会実行委員会:090-6681-5351(担当:高橋)

誰もが疑問に思っていた答えが、この映画の中にある。

なぜ、人は戦争で人を殺せるようになるのか？

日本人に似て従順なルワンダ人は、お上の命令で、自国民 80 万人を虐殺した。イスラエル空軍兵士は、国のためなら、誰でも殺していいという気持ちにさせられた。長崎被爆者は、アメリカ兵を殺そうと思っていた。恐ろしいことに、みな優しい人たちだった…。



なぜ、幸せのための宗教なのに、宗教戦争があるのか？

神様の呼び名が違っているだけで、宗教が違っていても、実は同じ神を信じている。宗教の根本原理も同じだ。愛、寛容、互いに親切であること。かつてパレスチナでも何百年間もの間、ユダヤ教徒とイスラム教徒が仲良く共存できていたという。そう、宗教を悪用する人が…。



なぜ、パレスチナには 67 年間も平和が訪れないのか？

パレスチナがテロ攻撃をするから、イスラエルが報復で空爆する。ユダヤ教徒とイスラム教徒の争い。それが、マスコミの報道で伝えられていることだ。しかし、その報道が真実ではなかったとしたら？ すべては、この映画の中に答えが…。



日本・ヨーロッパ・中東。世界中の人が、アースキャラバンで立ち上がった！

俳優・鶴見辰吾さん



「私たちの怒りや憎しみや欲望から起こる戦争は、私たちの手で止める事ができるはずだと思います。アースキャラバンの火が、世界の平和の火となって世界中を灯すことを願っております。」

音楽家・原田真二さん



「一人の人の変化。これが、ものすごい大きな変化を生み出すんですね。私にそんな力はないよなんて、決して思わないでいただきたいんです。世界を変える力をみんなが持っているんです。」



story

被爆者の想いを乗せた原爆の残り火が、ピースサイクリングで日本を縦断。誰も望まないのに戦争が起こるカラクリが、元イスラエル軍兵士らの証言で明らかになっていく。そして舞台はヨーロッパ。原爆の残り火に感動した世界中の人々が「違い」を乗り越えつなげていく。一方、アウシュビッツでは「違い」のため人々が迫害された歴史に出会う。はたして人間は、国籍や人種や宗教の「違い」を乗り越えることができるのか？そして、ついに原爆の残り火は、今なお戦争がつづくイスラエル・パレスチナへ。パレスチナ人は本当にテロリストなのか？本当にユダヤ教とイスラム教の宗教戦争なのか？我々が目撃したのは、マスコミが伝えないパレスチナの真実だった！

監督・撮影・編集：鈴木聡／
編集構成：矢吹涼子／編集：中村幸志朗（ダダビ）、坂谷稔／編集コーディネーター：松本隆洋／撮影：橋元大和、田中聡、中嶋弘行／ナレーター：板倉由実／整音：尾居士祐大（JAWS）／宣伝デザイン：岩船陽子／その他たくさんのボランティアの方の協力によってこの映画は作られました。

公式サイト：<http://www.earthcaravan.jp/befree/>

アースキャラバン BE FREE